



OSAKA JAPAN

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0205 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

◇ 2008年9月30日 第879回例会(第878号) ◇

◎ 本日の例会 ◎

今週の歌 「我等の生業」

国際ロータリー第2660地区

川西靖裕ガバナー補佐訪問

「クラブ協議会」

◎ 次回例会のお知らせ(10月7日) ◎

卓話 「職業奉仕月間に因んで」

杉本全司 奉仕活動副委員長

前回〔9月16日〕例会記録

来客

森田晴夫君(京都東)

会長の時間 八橋会長

本日の例会は「公式訪問に向けて」のクラブアッセンブリー(Club Assemblies)が予定されています。新会員の方々に説明させて頂くと、クラブアッセンブリーとはクラブ協議会のことです。今月の9月30日に予定されている川西靖裕ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会の為のクラブ協議会と考えて頂いたらよろしいかと思います。

では通常のクラブ協議会(Club Assemblies)とは申しますと…

簡単に説明致しますとクラブの主要な計画作りを相談するための組織会合で、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれます。クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員の会合でクラブ全会員の出席が要請されます。1年間に少なくとも6回くらい開催することが

出席報告 山崎委員長

【9月16日】

在籍会員 41名 (内出席規定適用免除者 10名)

出席会員 31名 (内出席規定適用免除者 4名)

ホームクラブ出席率 88.57%

8月26日のMUを含む出席率 100%

最も望ましく、効果的であるといわれています。クラブ協議会での討議は年次計画の執行が中心とされますが、委員会間の活動調整や応急プログラムの検討の審議も行われます。但しクラブの管理主体はあくまで理事会であり、理事会の先議権に抵触するような問題を採択したり、クラブを拘束するような決議は出来ません。

もう一つは、クラブ・フォーラム(Club Forum)。よく耳に致しますがこれはクラブ討論会と呼ばれる自由な雰囲気での会合です。ラテン語から来たもので、古代ローマで一般市民の集まる広場のことでしたが、今では通常これを討論会の意味に使われています。参加者に役職上の資格などを制限しないで、誰でも全く自由に討論する会合です。1部門1回は開催しなければなりません。クラブ・フォーラムは、決議をしたり、結論を出したり、採択したりするものではありません。理事会、委員会、クラブ協議会に課せられている目的と混同してはならないのです。

幹事報告 木元幹事

◎次回例会は、9月30日(火)です。川西ガバナー補佐をお迎えして、「クラブ協議会」を開催します。時間は14:00まで延長しております。

◎2008~2009年度「クラブの概況」を配付しました。9月30日(火)ガバナー補佐訪問日および10月21日(火)ガバナー公式訪問日に必要です。

◎地区より、新会員推薦者ピンが寺井会員、木元に届きました。

ニコニコ箱

延 会 員 先週プログラム担当で少し不適切な発言をしたと反省。“私も含めて、どちらかという日本人は”に訂正します。

栢 本 会 員 あさってより、西本会員にお世話になりニューカレドニアに行つて来ます。

西 上 会 員 昨日、長女が結婚しました。後、息子一人となりました。

飛 田 会 員 前回欠席のおわび。

八 橋 会 員 おじいちゃんになりました。

本日分 29,000円 累計 380,000円

クラブアッセンブリー

「公式訪問に向けて」 木元良三幹事
来たる9月30日、川西靖裕ガバナー補佐をお迎えして「クラブ協議会」が開催されます。協議会が有意義なものとなるよう、全会員で協議を行いました。

三大常任委員会委員長を中心に終始熱のこもった討議がなされました。

三大委員会委員長を始め全委員のご協力を頂き、吹田江坂RCならではの協議会であることを期待しております。

■『友』インターネット速報 2008年9月16日
NO.351

ロータリーの地図に新たな国が加わる

8月11日、ライン諸島(南太平洋)のキリバス共和国のキリティマティロータリークラブ(RC)が国際ロータリー(RI)理事会により承認され、ロータリーの地図に新たな国が加わりました。

8月23日、会員35人の同クラブは、第9920地区(サモア、フィジー諸島、トンガ、フランス領ポリネシアなど)やアメリカからの来賓を迎え、最初の公式例会を開き、1週間にわたる祝いを開始しました。その1週間のプログラムの一部として、会員たちが学校や病院を訪問、今後実施するプロジェクトのための下見などを行いました。

キリティマティで世界社会奉仕(WCS)活動を行い、ロータリーをこの諸島に広めたアメリカ・コロラド州コマースシティRCの会員も一連の活動に参加しました。この島で数年にわたり休暇で過ごしてきたコマースシティRC会員のジョージ・メイビー氏は、2006年に訪れた際、自分のクラブが行う支援に現地の人たちも巻き込むべきだと考え始めました。1年後、コマースシティクラブは医療活動、水質、教育など多角的なWCSのプロジェクトに着手しています。http://www.rotary.or.jp/sokuho/index.html

『Rotaryってなんですか?』より

国際ロータリー第2660地区

パスト・ガバナー 戸 田 孝 著

出合いとは(一期一会)

井伊直弼は桜田門外の変に倒れた薄命(46才)の人であった。彼の書「茶湯一会葉」には「そもそも茶の交会是、一期一会といつて、たとえ幾たび同じ主客と交會するも、今日の会に再びかえらざることを思えば実にわれ一世一度の会なり」と記されています。

一期一会とは一生涯においてただ一度の會合であることであり、會つたときが別れのときなのであります。たとえ幾度會う人であっても今日の會合は二度と回つて来ない。だから自分自身に責任を持つべきであり、一期一会とは“めぐり合ひ”の凝視である。と記されています。

人生はすべて出合ひである。これは出愛にも通じ、思いやりの心にも通じます。

坂村真民氏の詩

「子を抱いていると ゆく末のことが案じられる
よい人にめぐりあつてくれと おのずから涙が
にじんでくる。」と

山口パスト・ガバナーの話

関西ロータリー研究会の席上で山口善三パスト・ガバナー(D.2650)が発言され、「私は常に一期一会の心で例会に出席し、そのつみ重ねで43年皆出席することができました。それには自分のライフ・ワークが挫折しないように、困難な仕事をのり越え、健康に留意し、というような自己コントロールに心がけることによって達成することができたのです。このことによって、ロータリーから得られた幸福と喜びがあり、人間的な成長が得られたことを顧みてロータリーに入れていただいたことに深く感謝しています。これから、さらに50年に向つて精進したいと思っています。」と、山口P.G.は滋賀県(大津)からわざわざ大阪の研究会に参加されたのです。

“出合ひの重なり”はロータリーの真価ともいふべき、例会出席は稀有な教育的特性をもっており、“ロータリーは人をつくる”の場となっている。さらに自分の職業生活の中では得られない、多くの違った職種の優れた指導者と知り合ひになれることであり、そこからインスピレーションを受けて、自分自身が成長すると共に、例会で学んだものを自分の所属する業界に持ち帰り、さらに業界の人々にもこれを押し拡めることが望まれています。